



神戸陽子線センター

肝細胞がんなど保険適用が追加されました

2022年4月より肝細胞がん、肝内胆管がん、局所進行性膵がん、手術後再発した局所大腸がんの陽子線治療が新たに保険適用となりました。いずれも手術適応がなく局所に限局した病態が対象となります。特に肝細胞がんは以前から粒子線治療での高い治療成績が国内外から多数報告され保険適用を要望する意見も多く、ようやくその期待に応えられるようになりました。肝細胞がんについては病変が4cm以上で肝臓内の病変数3個以内がおおよその目安となります。

粒子線治療の保険適用は2016年の小児がん（陽子線）、骨軟部腫瘍（重粒子線）にはじまり、2022年現在、骨軟部腫瘍、前立腺がん、頭頸部がん、肝細胞がん、肝内胆管がん、局所進行性膵がん、手術後再発した局所大腸がんに加え、小児がん（陽子線のみ）、局所進行性子宮頸部腺がん（重粒子線のみ）となっています。全国の粒子線医療施設が協力して過去の治療データを解析し、国内外の論文をまとめるなど取り組んできた結果、少しずつですが保険適用の範囲が広がってきました。今後も保険適用の拡大に向けて全国の粒子線医療施設と連携して取り組んでいきます。

ホームページ上でも速報として表示し、受診方法など記載していますのでご覧ください。

<速報>

肝細胞がん・膵がん等 粒子線治療が保険適用

厚生労働省は、がん粒子線治療の公的医療保険適用に関し、2022年4月から5種類のがんを新たに対象とする方針を決定しました。

陽子線・重粒子線治療両方が保険適用となる疾患	重粒子線治療のみが保険適用となる疾患
<ul style="list-style-type: none"> 肝細胞がん（4cm以上） 肝内胆管がん 局所進行性膵がん 手術後再発した局所大腸がん 	<ul style="list-style-type: none"> 局所進行性子宮頸部腺がん

新たな保険適用疾患についての粒子線治療相談を開始しました！
メール、電話、FAXでの相談OKです！

基本理念

科学的根拠に基づき、がん医療の未来を拓く
陽子線治療を推進します。

基本方針

- 最先端の陽子線治療施設として高精度の放射線治療を提供します。
- がん医療の進展を反映した陽子線治療を行います。
- 小児がんに重点を置いた陽子線治療を提供します。
- 患者さんの意思を尊重し、正確な医療情報に基づいた信頼される医療を行います。
- チーム医療を基本として、温かい医療を推進します。



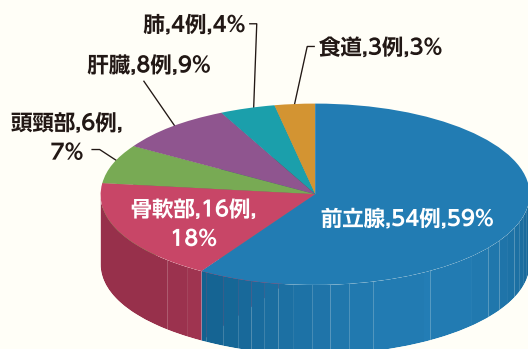
兵庫県立粒子線医療センター附属

神戸陽子線センター
Kobe Proton Center

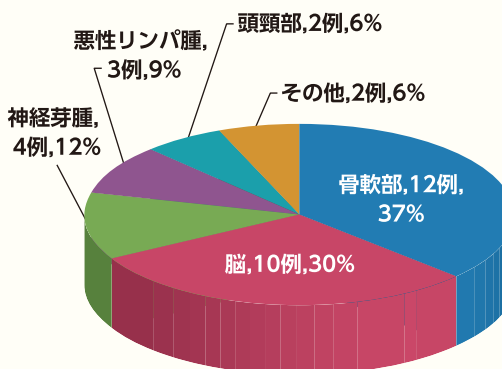
令和3年度下半期の治療実績について

本格稼働を始めて半年が過ぎた令和3年度下半期の治療実績は次の通りでした。

1 成人 <成人の治療実績> (91例)



2 小児 <小児の治療実績> (33例)



オンライン診療を始めました

かねてからご要望がありましたパソコン、スマートフォン、タブレットを用いたオンライン診療の体制が整いました。必要に応じて画像検査などを画面でお示ししながら診療を行うことができます。セカンドオピニオンだけでなく、新患、治療後の再診も対応します。

対応ブラウザは、次のとおりです。

【パソコン】

Windows : Google Chrome,
Microsoft Edge

Mac : Google Chrome, Safari

【スマートフォン】

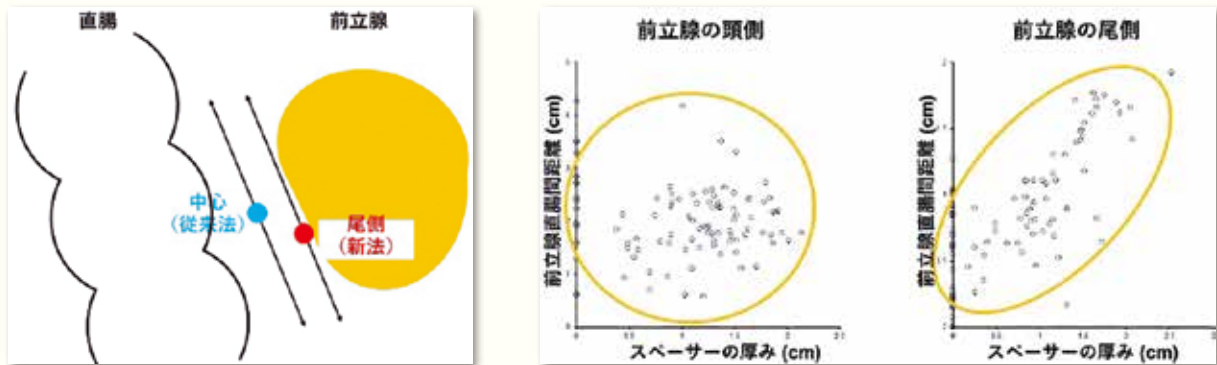
iOS : Safari

Android : Google Chrome

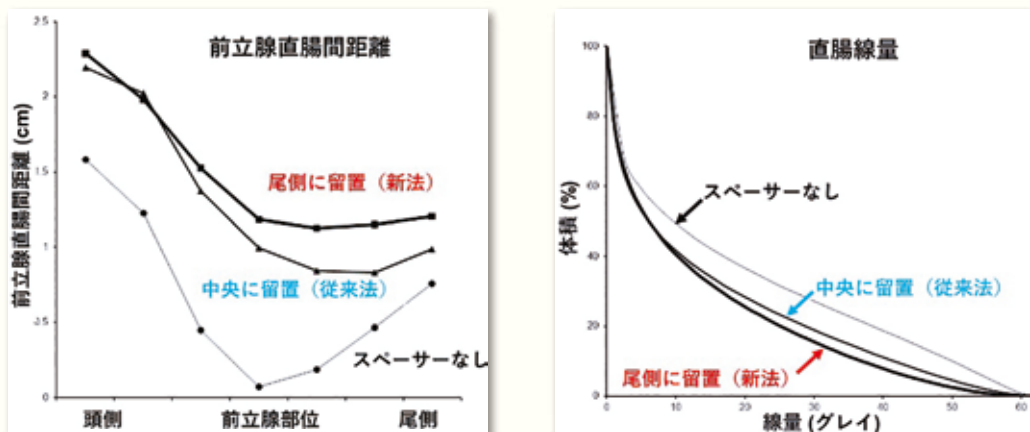
利用するシステム	Findme システム
費用	<p>(セカンドオピニオン) 開始～30分まで：セカンドオピニオン料 11,000円＋システム利用料 5,500円（以降15分毎に加算あり）</p> <p>(保険診療) 診察費用＋システム利用料 1,100円</p>
申し込み	<p>(新患) HPの患者紹介FAXで、オンライン診療に<input checked="" type="checkbox"/>を入れて下さい。</p> <p>(新患以外) 当センター主治医にて予約</p>
診察の条件	<p>1 クレジットカードをお持ちの方に限られます</p> <p>2 診察日までに病院から（又は患者さんから）診察資料の送付が必要です。</p>
その他	<p>1 小児患者さん・ご家族の利用も可能です</p> <p>2 別の端末からの家族参加も可能です。</p>

スペーサーの効率的な留置法を開発しました

前立腺癌の放射線治療では、前立腺と直腸を離す目的でスペーサーがよく用いられています。当センターでも 2019 年 5 月よりスペーサー (スペース OAR®) を用いた陽子線治療を神戸大学国際がん医療・研究センターの協力のもと行っています。2022 年 6 月現在、すでに 250 例以上の治療を行っています。



今回、スペーサーの効果とその効率的な留置法について解析し、その成果を論文として発表しました。最初にスペーサーの厚みが前立腺と直腸の距離を離すのにどの程度貢献するか調べました。その結果、前立腺の尾側ではスペーサーの厚みが前立腺と直腸の距離によく相関するが頭側ではあまり相関しないことが分かりました。すなわち、尾側のほうが、効率的に距離を確保できることが予想されたので、スペーサー留置部位を従来は前立腺の中央レベルでしたが、少し尾側で、かつできるだけ前立腺に近い位置に変更しました。その結果、前立腺の中央から尾側での距離が左下図のように大きくなり、直腸の照射線量が右下図のように低下することが分かりました。これらの結果は論文*として国際的な医学雑誌に掲載され、表紙にもとりあげられました。



今後もさらなる安全で効率性の高い治療の実現に向けて取り組んでいきます。



*fukumitsu N, et al. Separation effect and development of implantation technique of hydrogel spacer for prostate cancers. Practical Radiation Oncology (2022) 12, 226-235.

Information



神戸陽子線センター マスコットキャラクター

Proとん
です！
よろしくね♪

駐日ルーマニア大使が見学に来られました。

5月12日にオヴィディウ・ドラング駐日ルーマニア大使 (H.E.Mr.Ovidiu Dranga, Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of Romania to Japan) が当センターの見学に来られました。粒子線治療施設について興味深く質問され、自国にも粒子線治療の施設を作りたいとおっしゃっていました。

ルーマニア大使館のフェイスブックにも神戸市表敬訪問の中に写真が載せられています。
<https://www.facebook.com/AmbasadaRomanieiJaponia>



健康保険証としてマイナンバーカードが使用できます

当センターでは、健康保険証としてマイナンバーカードがご利用頂けます。ご本人様確認は、顔認証システムまたは暗証番号入力により行えます。

・便利な機能

1. ご本人様の同意により、医療機関や薬局で薬剤情報を確認できる。
2. 每名ポータルで過去の薬剤情報と特定健診情報を閲覧できる。
3. 医療機関や薬局で限度額以上の一時支払いの手続きが不要になる。
4. 確定申告書の作成時に、医療費通知情報がデータ連携できる。



使用にあたりご不明点がございましたら、お気軽にスタッフにご相談下さい。



<成人用治療室>



<小児用治療室>

本誌に関するご感想・ご希望・ご質問はこちらまで



兵庫県立粒子線医療センター附属

神戸陽子線センター

〒650-0047 神戸市中央区港島南町1丁目6番8号
TEL.078-335-8001 (代表) FAX.078-335-8006
<https://www.kobe-pc.jp/>



兵庫県立粒子線医療センター

<https://www.hibmc.shingu.hyogo.jp/>

